

# プローブ情報を活用した“通れたマップ”作成に関する実証実験の公募概要 ～バリアフリー・ナビプロジェクト～

## 1. 本実証実験の背景

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、例えば、車いすの方が通行できるバリアフリールートスマートフォンを通じてナビゲーションする等、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を目指し、バリアフリー・ナビプロジェクトを推進しています。

このようなサービスの実現に当たっては、歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリーに関する情報を収集する等により、経路の通行可否を判断することが不可欠です。国土交通省では当該情報を収集する際のデータ仕様を定めていますが、サービス提供に必要なデータを持続的に整備・更新できる仕組みの構築が引き続き課題となっています。

このたび、持続可能な歩行者移動支援サービスの構築に向けて、プローブ情報を地図上に可視化した“通れたマップ”の作成について検討するため、本検討に必要なデータ収集ツール（アプリケーション）を利用させていただける協力主体を公募することとしました。

## 2. 検討項目（案）

- 車いす使用者のプローブ情報の収集・活用に関する検討
  - ① データ収集体制の整備に向けた検討
  - ② データ収集促進の効率化に向けた検討
  - ③ 歩行空間ネットワークデータ等への活用可能性の検討

## 3. 実施期間

平成29年9月～平成30年3月31日

## 4. 実施スケジュール（予定）

平成29年9月上旬	実証実験の協力主体の選定
平成29年9月～12月	実証実験の実施（事前調整、結果整理を含む）
平成30年1～3月	実証実験の成果とりまとめ

## 5. 応募方法

応募される方は、別添2の提案書、組織概要、及び6.1)を満たすことがわかる資料を8.の提出先にご提出ください。

提案書のテーマ：車いす使用者のプローブ情報を効果的・効率的に収集するにあたっての有用な提案、及び留意点

## **6. 協力主体に対する条件、ヒアリング日時等**

### 1) 協力主体に対する条件

車いす使用者のプローブ情報収集に関する実績及び専門的な知識を有していること。

### 2) 参加者数等

- ・ 1 者程度の民間企業等を想定しています。
- ・ 提案書に基づき、必要に応じてヒアリングを実施して、総務課（総合交通体系担当）において総合的に評価・選定します。

### 3) ヒアリングの日時、場所

ヒアリングの日時及び場所は以下を予定しています。

- ・ 日時：8月28日（月）～9月1日（金）のうち1日（20分程度）
- ・ 場所：国土交通省内の会議室を予定

※ 具体的な日時・場所は、募集期間終了後、応募者へ連絡します。

## **7. 注意事項**

本検討において、国土交通省から協力主体に対して費用を支払うことはいたしません。したがって、応募に当たって新たにアプリケーションを開発していただくことは想定していません。

## **8. 問い合わせ・提出先**

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系担当） 原田（洋）、原田（勝）

TEL：03-5253-8111（内線 53102、53115）、03-5253-8794（直通）

FAX：03-5253-1675

E-mail：[harada-y24n@mlit.go.jp](mailto:harada-y24n@mlit.go.jp) [harada-k2iy@mlit.go.jp](mailto:harada-k2iy@mlit.go.jp)